

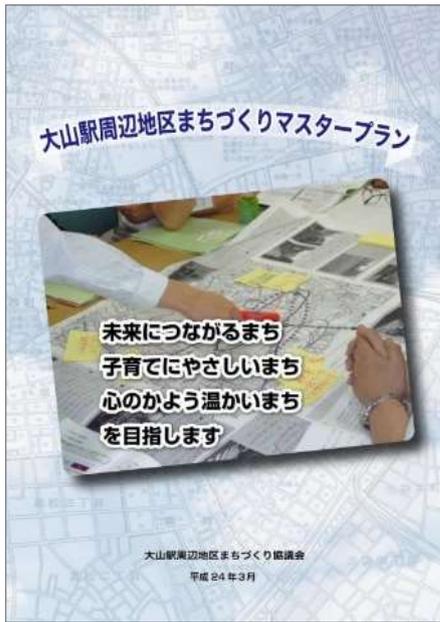
まちづくりの状況について

東武東上線大山駅付近立体化促進協議会
平成29年7月28日

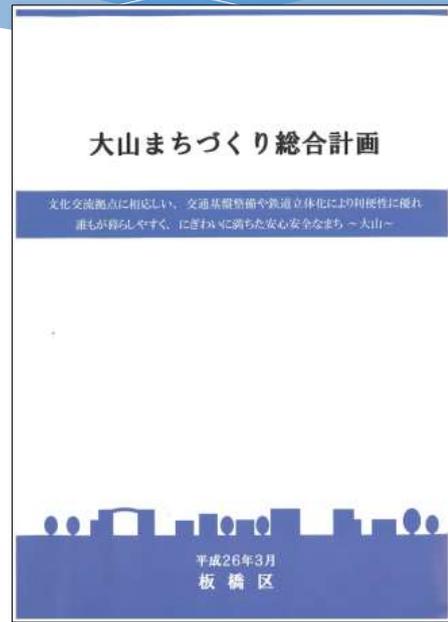
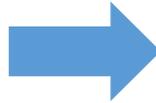
目次

○まちづくりの取り組みについて	・・・・・・・・・・	1
○駅前広場について	・・・・・・・・・・	3
○連続立体交差事業について	・・・・・・・・・・	9

大山駅周辺のまちづくり



提言

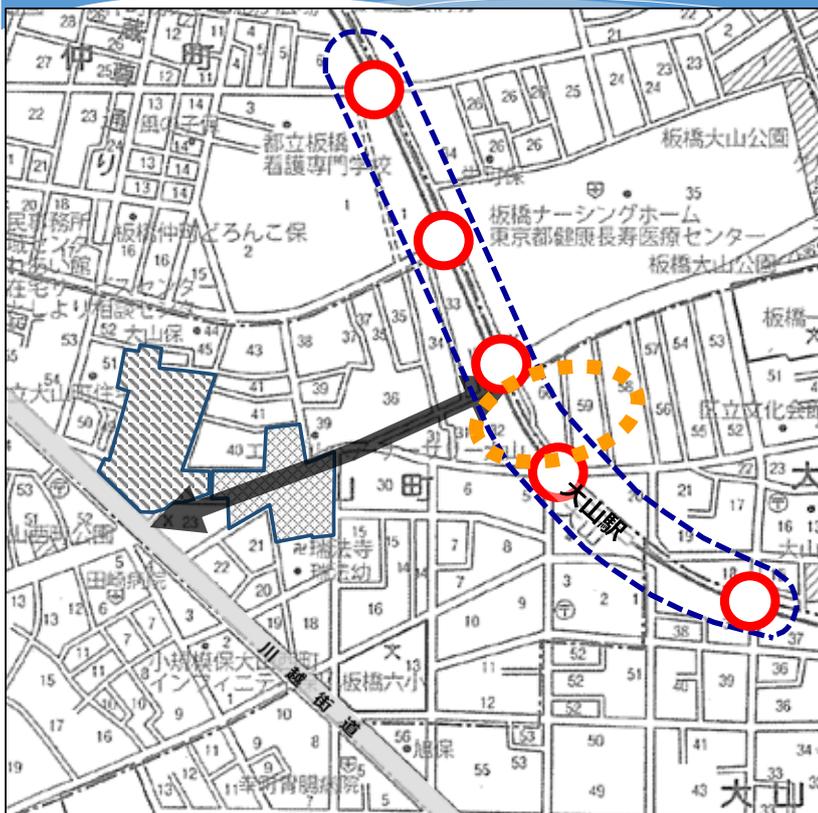


「大山駅周辺地区まちづくりマスタープラン」
平成24年3月策定
(大山駅周辺地区まちづくり協議会)

「大山まちづくり総合計画」
平成26年3月策定
(板橋区)

1

まちづくりの取り組み



個別事業計画

	都市計画道路補助第26号線
	ピッコロ・スクエア再開発
	クロスポイント再開発
	駅前広場
	連続立体交差事業
	重点踏切

本資料に掲載の地図は、国土地理院発行の1万分の1地形図を使用し、測量法第30条に基づく成果使用承認「平28情使、第125号」の一部を転載したものである。
地図調整 映船津地図社

2

大山まちづくり総合計画

- 目的：各交通機関への乗り換え利便性の向上

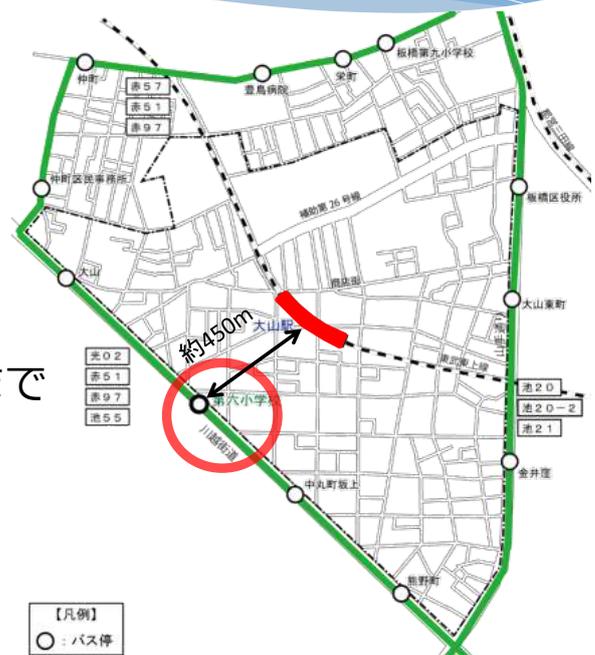


駅前広場の整備候補エリア
(大山まちづくり総合計画・平成26年3月)

3

大山駅付近の交通面の課題

- バス・タクシーが駅近傍まで乗り入れられる空間なし
- 最寄りのバス停（第六小学校）まで約450m・徒歩約6分



バス路線図

4

大山駅付近における空間的な課題

- 十分な歩行空間が確保されず、滞留するスペースがないため、まちの玄関口としてのゆとりがない。
- 放置自転車が多く、歩行者の安全な通行を妨げている。
- 災害時に一時避難出来る場所が確保されていない。



5

駅前広場に導入を検討する施設

機能		導入を検討する施設	空間
交通結節機能		バス乗降場 自転車駐車場 タクシー乗降場	交通空間
都市の 広場機能	交流機能	イベント広場 休憩スペース	環境空間
	景観機能	緑地 地区のシンボルとなる駅前広場	
	サービス機能	交番・公衆トイレ 公衆電話	
	インフォメーション機能	案内板 サイン	
	防災機能	災害時の避難スペース 備蓄施設	

6

連続立体交差事業とは



【整備事例】京成押上線（押上駅～八広駅間）と明治通りの交差点（東京都HPより引用）

9

事業の効果

踏切遮断による
交通渋滞及び踏切事故の解消



鉄道により分断されていた
市街地の一体化



鉄道敷設等空間の利用

10

大山駅付近の立体化に関する経緯

- 平成16年6月 踏切対策基本方針策定
鉄道立体化の検討対象区間に位置づけ
- 平成26年9月 連続立体交差事業の事業候補区間に位置づけ
- 平成29年4月 連続立体交差事業 着工準備採択



事業の流れ

